

第3回「講演と音楽の集い」報告

神奈川県放射線友の会

● はじめに

2025年8月31日(日)、神奈川放友会主催の第3回「講演と音楽の集い」がJR鶴見駅前の鶴見区民文化センター・サルビアホール4階ホールにて開催された。参加者240名と多くの市民に地層処分を理解して頂き、音楽も楽しんでもらった有意義な会であった。

昨年12月1日(日)戸塚駅近くの男女共同参画センター横浜フォーラム・ホールにて第2回「講演と音楽の集い」を開催した。

令和7年度の本会の事業計画として、原子力発電の使用済燃料の最終処分方法として「地層処分の必要性」についてより多く市民の皆様知ってもらう企画として、本年も「講演と音楽の集い」を理事会で審議し、2025年6月、原子力発電環境整備機構(NUMO)学習支援事業に応募した。面談審査に早瀬総務理事が対応し【採択】となり支援を受ける事が確定し開催が決まったのである。

● 広報活動

「講演と音楽の集い」開催が決定し、広報活動に必要なポスター、プログラム、本会が企画実施してきた地層処分学習活動報告書等の作成を理事会で検討し広報に努めた。

● 当日配布のプログラム(A4サイズ2ページ)



【I】講演・講師「島田顕臣」氏の略歴等が紹介されている。島田顕臣氏には、昨年9月神奈川放友会で地層処分学習活動として、土岐瑞浪東濃地科学センター見学した折に説明担当して頂いた方で、熱のこもった説明、分かりやすい説明、話上手・・・ということで今回の講演会で講師をお願いし、快く引き受けて頂いたのである。

【II】癒しの音楽・当初、音楽の杜管弦楽団の指揮者の予定であった野武重忠先生が、本年7月に体調を崩され急逝された。第2回の講演と音楽の集いにおいて指揮され今回の第3回開催にも積極的に協力して頂いた。大変残念で悲しい想いであった。哀悼の意を表します。新たに指揮者として迎えられた井上博文先生、指揮者紹介の略歴から大変素晴らしい先生であり、今回の音楽会で素晴らしい指揮のもと素晴らしい演奏が聴けると思われた。神奈川放友会副会長の小嶋昌光さんには、「講演と音楽の集い」開催が決定してから、会場の設定、音楽の杜管弦楽団員とスタッフを含めた74名の方への連絡等大変忙しい日々を過ごされた事と思う。感謝である。

● タウンニュース・横浜鶴見区版での広報



夏の涼感をイメージしたポスター

鶴見区市民に配布されるので多くの参加者を期待したい。

● 広報活動（その他）

中村会長は、地層処分に関する WEB 交流会に参加、神奈川県放射線技師会、各地区技師会、神奈川核医学研究会、等に広報の協力を要請した。



（ある病院の待合室掲示板に「講演と音楽の集い」のポスター）

神奈川放友会役員の方々も、広報活動に努力したのである。
インターネット（WEB）上の広報として、日本原子力文化財団（JAERO）の「応援の輪」でも案内して頂いた。感謝である。

◎ 第一部 講演会 2025/8/31（日）

12：00 橘副会長の司会進行で、中村会長より挨拶があり、次いで本日の講師、日本原子力研究開発機構（JAEA）の島田顕臣先生の地層処分に関する講演が開催された。

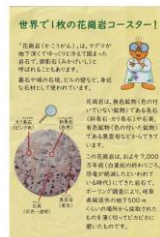
● 今話題の「地層処分とは？」何ですか！

原子力発電所の使用済燃料の再処理過程で発生する「高レベル放射性廃棄物」の最終処分方法である「地層処分」は世界共通の認識であり、日本国でも法的に認可された処分方法である。地層処分とは何か、安全に処分を進める、国民の理解が必要（トランスサイエンスの問題）等について講演して頂いた。講演内容は以下の内容



- (1) 高レベル放射性廃棄物とは
- (2) 地層処分とは
- (3) 日本の地層処分事業の現状は
- (4) まとめ

島田先生は話上手、「高レベル放射性廃棄物」の処分には、地層処分が最も安全で、最も実現性が高いことを分かりやすく説明して頂いた。日本には活断層が多い、活断層による影響の説明時に、3D メガネ（赤青）を使用し活断層の概観を立体的に説明して頂いた。初めての 3D メガネ経験の方も多く、楽しく好評であった。また、先生より



7,000 万年前の花崗岩のコースターを 10 枚プレゼントして頂いた（3D メガネに当選マーク）。土岐瑞波市地下 500m から採取し加工されたとの事。

講演会終了後、会場より 4 名の方が質問された。



島田先生にはそれぞれいい質問に答えて頂いた。先生の担当分野以外の質問もあったが、詳細に分かりやすく説明された。講演終了後の休憩時間にも受付付近にて何人かの方より質問を受け対応して頂きました。

● 神奈川放友会「地層処分学習活動報告 2024 REPORT」



神奈川放友会名誉会長 長谷川武より、2019 年度より NUMO の地層処分事業に応募して受講学習と 4 回の施設見学をし、会員市民と一緒に活動する「市民公開講演会・講演と音楽の集い」等の学習企画を進めて来たとの報告がありました。

◎ 第二部 癒しの音楽

13：35～音楽の杜管弦楽団の演奏会が始まった。

● 故野武重忠氏を偲ぶ



小嶋副会長（楽団世話人）より、今年 7 月に急逝された指揮者野武重忠氏追悼の言葉があり、後任の指揮者井上博文氏により 1 曲演奏され、その後、

楽団員、会場参加者、全員起立、「黙祷」、冥福を祈った。

● 音楽の杜管弦楽団演奏曲目（指揮 井上博文 氏）



- ・モーツァルト ♪ 歌劇「魔笛」序曲
 - ・ビゼー ♪ 「アルルの女」第 2 組曲
 - ・ドボルザーク ♪ 交響曲第 8 番 ト長調作品 88
- 指揮者、井上博文氏は劇団四季にてオペラ座の怪人、東京ニューシティ管弦楽団、群馬交響楽団、宝塚歌劇団等でも指揮を務め、海外留学の経験もあり、後進の指導にあたられている素晴らしい指揮者であった。

約 2 時間（休憩 15 分）迫力のある素晴らしい演奏が続いた。



た。演奏終了時には大きな拍手が会場内に鳴り響いた。

● 講演と音楽の集い・・・終えて

15:30 演奏会終了、楽団員の方には舞台に残って頂



き、神奈川放友会会長中村豊氏、日本原子力文化財団、指揮者井上博文氏より楽団の皆様へお礼の挨拶がされ、

その後、記念撮影し解散となった。

3F ギャラリー放友会控室にて、実行役員会が開催され、早瀬理事（運営責任者）より今回の「講演と音楽の集い」参加者は 240 名であったとの報告がされた。